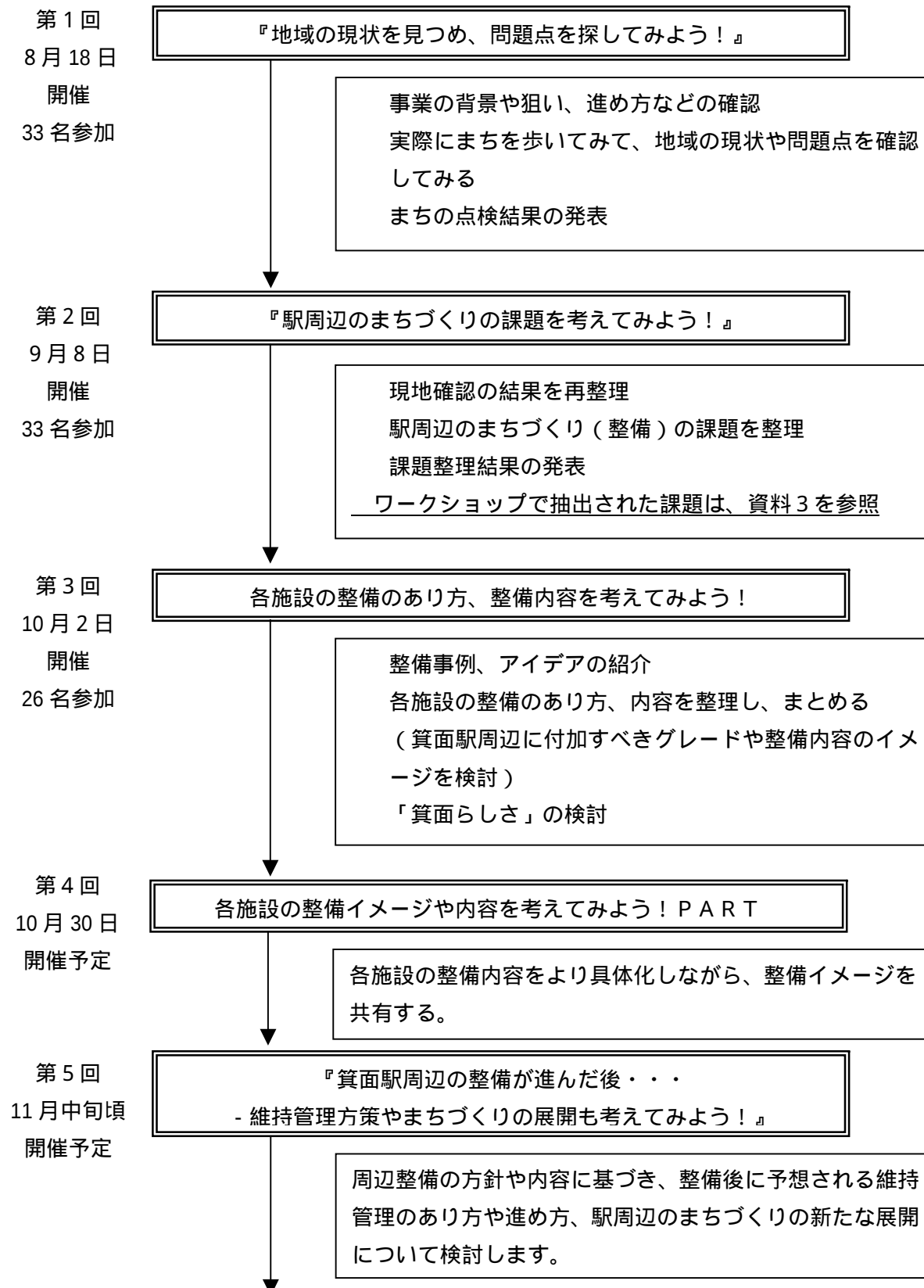


1. 検討ワークショップの実施状況

・これまでに検討ワークショップを3回開催しました。内容は次のとおりです。



【第1回検討ワークショップの様子】



【第2回検討ワークショップの様子】



【第3回検討ワークショップの様子】



2. アンケートの実施状況

利用者アンケートの実施

- ・ 7月下旬から8月上旬にかけて箕面駅前周辺で開催された各種イベント会場に訪れた来訪者を対象に、聞き取り形式でアンケート調査を実施（調査内容はいずれのイベントも同種のもの）。
- ・ 調査実施日：平成18年7月22日（箕面地区納涼の夕べ、地ビールビアガーデン会場）
7月28、29日（箕面灌道夏まつり、タウンインフォメーションスペースオープニングイベント会場）
8月7日（箕面山七日市会場）
- ・ 調査数：159名（回収完了）
- ・ 調査内容：箕面駅周辺及び商業地の全体的印象、アーケードの要不要、不足している施設や業種・店舗、不足しているもの・改善すべきもの、箕面山七日市等の取り組みについて（TMOの存在等）、属性（性別、年齢、利用交通機関、居住地）
- ・ 調査結果は参考資料 - 1のとおり

箕面駅前第一駐車場利用者アンケートの実施

- ・ 9月12、15、17日の3日間、箕面駅前第一駐車場の利用者を対象に、聞き取り形式でアンケート調査を実施。
- ・ 調査実施日：平成18年9月12、15、17日（平日2日、休日1日）
- ・ 調査数：289名（回収完了）
- ・ 調査内容：駐車場の利用頻度・利用形態、利用した感想（施設面、サービス面）、利用促進に向け必要な取り組み（具体的内容）、その他要望について、属性（性別、年齢、職業、居住地域）
- ・ 調査結果は参考資料 - 2のとおり

箕面駅前自転車駐車場利用者アンケートの実施

- ・ 9月12、15、17日の3日間、箕面駅前自転車駐車場の利用者を対象に、アンケート調査票を配布し、回答後、回収ボックスへの投函又は返信用封筒による返送により実施。
- ・ 調査票配布日：平成18年9月12、15、17日（平日2日、休日1日）
- ・ 調査票配布数：平日200、休日100
- ・ 回収期限：平成18年9月22日
- ・ 回収数：117名（10月2日現在）
- ・ 調査内容：自転車駐車場の利用頻度・利用形態、利用した感想（施設面、サービス面）、利用促進に向け必要な取り組み（具体的内容）、その他要望について、属性（性別、年齢、職業、居住地域）
- ・ 調査結果（速報）は参考資料 - 3のとおり

地域住民アンケートの実施

- ・ 箕面駅周辺の住民1,000名（無作為抽出）を対象に、アンケート調査票を配布し、回答後、返信用封筒による返送により実施。
- ・ 調査対象者（調査票配布数）：箕面1丁目～8丁目に居住の1,000名（無作為抽出、各町の配分は人口案分による）
- ・ 調査票配布日：9月8日～11日（TMO発行の「箕面まちなか通信」を同封し、調査票及び返信用封筒を直接配布）
- ・ 回収期限：平成18年9月22日
- ・ 回収数：221名（10月2日現在）
- ・ 調査内容：箕面駅周辺及び商業地の全体的印象、箕面駅周辺及び商業地のあるべき姿、不足している施設や業種・店舗（具体的内容）、改善すべきもの（具体的内容）、TMOの取り組みについて、属性（性別、年齢、職業、居住年数）
- ・ 調査結果（速報）は参考資料 - 4のとおり

地元商業者アンケートの実施

- ・ 箕面駅周辺で経営する商業者を対象に、アンケート調査票を直接配布・回収により実施。
- ・ 調査対象者（調査票配布数）：箕面駅周辺10商業団体、188店舗
- ・ 調査票配布日：9月12日～15日（各商業団体の代表に直接配布）
- ・ 回収期限：平成18年9月22日
- ・ 回収数：105店舗（10月2日現在）
- ・ 調査内容：箕面駅周辺及び商業地の全体的印象、箕面駅周辺及び商業地のあるべき姿、不足している施設や業種・店舗（具体的内容）、改善すべきもの（具体的内容）、今後の店舗経営（商業）の意向、TMOの取り組みについて、属性（性別、年齢、利用交通機関、経営年数）
- ・ 調査結果（速報）は参考資料 - 5のとおり

施設利用者アンケート（常設型）の実施

- ・ 9月15日より箕面駅前のインフォメーションスペース・みのおたうんにおいて、来訪者を対象に、アンケート調査の回答を要請（常設型）。
- ・ 回収方法：回答後、備え付けの回収箱に投函
- ・ 回答者数：32名
- ・ 調査内容：箕面駅周辺及び商業地の全体的印象、アーケードの要不要、不足している施設や業種・店舗、不足しているもの・改善すべきもの、箕面山七日市等の取り組みについて（TMOの存在等）、属性（性別、年齢、利用交通機関、居住地）

1. 検討ワークショップで得られた整備上の課題

駅前広場の整備上の課題

ロータリー（交通空間としての役割）

1) 交通処理の観点

- ・駅前ロータリーに自家用車待機スペースを確保する。
- ・ロータリー内に利用者別（車）ゾーンを整備する
- ・駅南側のスペースを一時置き駐輪場（コイン駐輪場）などの設置により有効利用し、通路の不法駐輪の解消を図る。

2) 交通空間としての付加的な観点

- ・障害者用のパーキング必要。
- ・ロータリー、一定間隔で歩道と車道の段差改良、障害者の乗降に配慮する。
- ・ロータリーの車道をかさ上げする。バリアフリー
- ・駅前広場の歩道、広場のスペースを広げる（配置の見直し）。車道、ロータリー、バス停スペースの整理、コンパクト化。結果的に視野が広がる。

環境空間としての役割

1) 交流の観点

- ・「歩行者が大切」「人が大切」にかえていくために歩道を拡幅・美しくする。
- ・水の出ない噴水は撤去するかモニュメント化して、いろはもみじを植える。秋になり電車から降りた観光客、乗客が、まず駅前で紅葉を目にするのは印象的ではないでしょうか。とにかく箕面らしさを出す。
- ・駅前広場の噴水のところが人の入ることのできる小公園（例えば、池田駅前のように）になるといい。子供が遊べるような。（排気ガスが充満しないかたちで）
- ・ウェンディーズ前広場の活用。イスを増やす。木製テラスのように活用。休憩所

2) 景観の観点

- ・「箕面らしさ（山・自然）」を感じられるように開放感のある駅前広場に。
- ・駅前広場の視界を良くする。噴水、モニュメントの撤去、移設。バス停施設（屋根、柱等）の見直し。
- ・駅前に緑と花があることは良い。プランターを増やせば良いのでは。アダプトをもっと活用すればよい。
- ・プランター管理をして下さっているボランティアの活動を応援するため、散水栓を設置する。
- ・駅前広場の植込みは、緑のみにする。花は手入れが大変なので（枯れるとかえって汚い）、できるだけ手入れの要らない常緑樹にする。一定の高さの高木を植樹するとよい。ロータリー外周の景観をよくする。
- ・駅周辺のプランター、すべて不要。

3) サービスの観点

- ・駅前周辺に街路灯を設置して明るくする。
- ・公衆電話は必要なし。
- ・滝道に散歩、ハイキング、買い物などに来た方が休めるベンチ（座る場所）が欲しい。木陰があればなお良い。
- ・改修、公衆トイレの改修（ユニバーサルデザイン、バリアフリー、エアコン完備）
- ・駅前広場に商店街の大型案内板を設置。滝道から駅に戻る人が、商店街がわかるように誘導サインを設置。
- ・観光案内所充実
- ・郷土資料館を含め、何の建物が分からない。特に駅からの視点。観光客にも・・・
- ・地図の入ったサインを駅前とミスタードーナツ前に設置する。
駅前ロータリー、サンプラ、本通り、駐車駐輪場を表示（駅から商店街の存在を知らせるため）。
- ・景観ポイントを作成し、チラシ配布により観光客の回遊性を誘導する。

都市核としての役割

- ・箕面会館、箕面消防分団を移設し（平尾会館が前にあり必要？）、観光施設や地区をアピールする施設にする。
- ・広場の拡大（有効利用できるような）。

（参考意見）

- ・駅東側にも改札口を設ける。滝道だけの流れを変えられることができるのでは。
- ・駅改札口をアールに開放できれば、人の動線が滝道から商店街に。視線の変化も望めるかも。
- ・駅に南口改札を作って、観光客の回遊性を高めて欲しい。
- ・駅前の東西の車の流れをスムーズに。駅舎を2号館と並列にし、駅舎から2号館へ。1F、2Fの商店街へ。そして1号館へ人の流れをつくる。
- ・駅前ロータリーを地中化（一部に観光バス駐車可能）し、阪急箕面駅地下を西側に接続する地下道の設置を。
- ・池田銀行前の交差点をスクランブル交差点にする。その為には、トイレ前より池田銀行までの植栽をカットし、道を広くすることにより、人の交流がよくなる。

箕面駅前第一駐車場の整備上の課題

道路交通の改善（沿道アクセスの向上、安全性の向上 等）

- ・駐車場東側の道路側溝にフタを。

自動車利用者の利便性の向上

- ・駐車場西側出入り口を北と南２ヶ所に。南側はブロックを取り、道路と一体化。
- ・サンプラザ１号館南出入口と駐車・駐輪場のつなぎ改善。
- ・駐車場については利用者の意見を聞いて。

都市の健全な発展への寄与（中心市街地・商業地の活性化、都市イメージの向上 等）

- ・外装が汚れて錆びている。駐車駐輪場の外壁塗装などを実施し、景観を向上。
- ・駐車場の壁面のペンキ塗り替え。壁画を描いては？
- ・駐車場周辺のブロック塀を撤去し、樹木、花壇、ベンチなどを配し、親水空間を生み出す。
- ・駐車場の前の柵をデザイン性の高い柵につけかえる。（少し高級感のあるものに）
- ・駐車・駐輪場のレトロな箱型スタイルを活かして、手を入れ、リメイクする。
- ・駐車場１Ｆ東側（シンボルロード側）にミニショップの設置をし、街の活性化を図る。

箕面駅前自転車駐車場の整備上の課題

交通結節点周辺における自転車駐車需要への対応

- ・駐輪場が出入りしづらく、使用に不便に言われている。
- ・駐輪場の入口が分かりにくいので表示する。
- ・駐輪場は利用しにくい。バイクの駐車台数も多くし、駅前から自転車、バイクを一掃すれば良い。
- ・駐輪場建て替える。駐輪場を縮小し、公共スペースを広げる。

サービス・拠点としての役割

- ・外装が汚れて錆びている。駐車駐輪場の外壁塗装などを実施し、景観を向上。
- ・鳥小屋のイメージ。景観を活かしながらなんとかできないだろうか。
- ・メインストリートに鉄骨むき出しの駐輪場が似つかわしくない。
- ・駐車・駐輪場のレトロな箱型スタイルを活かして、手を入れ、リメイクする。
- ・不法駐輪を減少させるため、駐輪場にはイベント発信基地、修理場もセットで整備し、会員制にして利用率を高めるなど。マナー・モラル学習の場にも。

目的施設の附置

- ・サンプラザ１号館南出入口と駐車・駐輪場のつなぎ改善。

（参考意見）

- ・駐輪場をもっと駅前に（ロータリー）移転。跡地は商業スペースに活用。

アーケード・街路等の整備上の課題

通路としての役割

- ・雨に濡れずに商店街入口から駅改札まで通行可能なデザイン的に一体感のあるアーケードを設置する。
- ・北側アーケードの撤去。
- ・車道側のフェンスの取替え。
- ・アーケード下の歩道のタイルが危ない（段差）。舗装（インターロッキング）の補修。
- ・店舗前のスペースと歩道との段差を解消する。サンプラ～駅への歩道の段差、型抜きが今の時代にそぐわない。もっと弱者に優しいデザインに。滝道の入口（派出所横）の傾斜を階段に。一部障害者用として傾斜を残す。
- ・サンプラ１号館南側歩道を広げて歩きやすくする。
- ・商店街を回遊できるように統一したデザインが欲しい。

沿道利用としての役割

- ・商店街の商品陳列を道路へ広げてはいけない。
- ・気楽に楽しく一杯飲み、おしゃべりするところがほしい。
- ・豊亀線（シンボルロード）のＴ字路の景観をもっと活用できないか？（インパクトが強い）
- ・シンボルロード上にトラック等の荷さばきスペースを確保する
- ・サンプラ１号館南の東西の通りを重視。本通りとの四ツ辻を演出。

環境空間としての役割

- ・本通りの舗装と歩道の舗装を合わせる。一体感を出すとともに、広く見える。
- ・花壇は植えてそのまま放置なら除く。樽の花も必要なし。道路が狭いので取り除くと良い。
- ・商店街の水路の改善、適正な維持管理。
- ・アーケードをもっと軽い感じのものに。すっきりした型（アクリル等）にし、見通しを良く。
- ・アーケードの内側に絵を描くことで印象を明るくする。アーケード・鉄柱部分の色統一と色検討。
- ・サンプラ１号館前は駐車禁止を徹底させる。景観と商店ＰＲのため。
- ・照明、デコレーション、花等。（商店街、ビルの協力が必要）
- ・歴史的道路の表示を示すこと。

収容空間としての役割

- ・本通りの電線を地中化する。

（参考意見）

- ・サンプラ１号館の２～３階に箕面の広告を出す。アーケード上のテナント集合看板の統一と美化。
- ・箕面の特産品ショップの設置
- ・本通り商店街に面した家屋を全て店舗にすると魅力が増すと思う。
- ・サンプラザ２号館、日曜日にシャッターが開く店舗にしてほしい。
- ・豊中亀岡線の歩道が広がったのはよいが、遊びがない。時間限定で夜（昼）店をしては？
- ・サンプラザの子供の広場、場所がいいので、もっと良い活用を。

街並みや建物などの整備上の課題

- ・ 景観・まちづくり。まちを見通せるような配置を心がける。
- ・ 建物関係の色調を統一する景観条例を設ける。
- ・ 高さ制限、法律化を。色、デザインにも制限を。良いものには助成金を。
- ・ 山、空が箕面の財産。

2. アンケート調査から得られた整備上の課題

利用者アンケートから得られた主な課題

地域に特に足りないと思う施設、あった方が良くと思う施設について

- ・ 利用者（来訪者）にとっては、ベンチなどの休憩施設（32.1％）やトイレ（26.4％）、広場・スペース（20.8％）などの利便施設の充実が、特に大きな課題としてあげられている。
- ・ 駐輪場（25.8％）や案内表示・看板（18.9％）の充実も大きな課題となっている。

駅前及び商業地として改善すべき点について

- ・ 駐車場や駐輪場、通路・通り・アーケードの造り・色については20％程度の利用者（来訪者）が改善すべき点としてあげているが、駅前広場の造り・色については、徒歩利用者が多いこともあり、改善点としての指摘は少ない。
- ・ 利用者にとっては公共施設よりも、店先や建物の雰囲気・造り（27.7％）、お店の商品構成（28.3％）といった商業施設に対する改善点の方が、大きな課題として受け止められている。

アーケードについて

- ・ アーケードについては、全てあった方が良く（64.8％）、部分的にはあった方がよい（14.5％）を合わせて80％近くの利用者がその必要性を感じており、商業地における利便施設として重要な要素として受け止められている。

駐車場利用者アンケートから得られた主な課題

駐車場を利用して感じたことについて

- ・ 利用者のおよそ70％が、建物の外観や内装、設備について良くないという印象を持っており、特に、場内の明るさについては、80％近くが暗いと感じており、この結果からも施設（ハード）面での改善が課題として大きいことをうかがわせる。
- ・ その一方で、場所の分かりやすさや、商業地や駅への通路の分かりやすさ、利用しやすさといった面では、意見が分かれている。

利用しにくい理由について

- ・ 車室が狭い、入口の幅が狭い、出口から外の見通しが悪い、といった理由から利用しにくいと感じており、これらは全て、駐車場の構造上の解消すべき課題といえる。
- ・ 構内の見通しが悪い、場内の徒歩の移動が危険、出入口が分かりにくい、といった理由も多く、合わせてその改善方を検討する必要があるといえる。

利用促進に向けて取り組むべき事項について

- ・ 施設の補修・改修（39.4％）、設備や機能の充実（9.7％）を合わせて約50％の利用者が、施設（ハード）面での改善が重要であるとしている。
- ・ 施設の建て替えや規模の拡大についても、少数ではあるが意見としてあげられている。

自転車駐車場利用者アンケートから得られた主な課題

自転車駐車場（駐輪場）を利用して感じたことについて

- ・利用者のおよそ 50％が、建物の外観や内装、設備について良くないという印象を持っており、特に、場内の明るさについては、65％以上の利用者が暗いと感じている。このような施設（ハード）面での改善点が多いこともあって、全体的な利用のしやすさについても、50％近くが利用しにくいと感じており、解消すべき課題といえる。
- ・その一方で、場所の分かりやすさや、商業地や駅への通路の分かりやすさについては、定期利用者が多いこともあって意見が分かれている。

利用しにくい理由について

- ・車室が狭く駐輪しにくいという意見が 90％近くを占め、ほとんどの利用者が、今の多様な自転車の形状にそぐわない広さ、設備であるとしており、これらを改善することが大きな課題といえる。
- ・構内が暗いために見通しが悪く、危険であるという意見（53.7％）も多く、明るさを確保するなど設備面での充実が課題といえる。
- ・入り口が狭い（スロープも急）、車路が狭いという意見も多く、解消すべき課題といえる。

利用促進に向けて取り組むべき事項について

- ・施設の補修・改修（25.6％）、設備や機能の充実（20.5％）、施設の建て替えや規模の拡大（12.8％）といった施設（ハード）面での改善が全体の 60％を占めており、特に重要な課題といえる。

地域住民アンケートから得られた主な課題

箕面駅周辺のまちづくりについて

- ・地域の住民は、箕面駅周辺のまちづくりは、「買い物などの利便性の向上」（29.0％）と「山並みや街並みなどの景観への配慮」（28.5％）が最も重要と考えている。
- ・「緑や水などの自然との調和」（10.4％）と合わせると、山の緑や自然との関係を重要とする意見が最も多く、いかに自然との調和、山並みや街並みとの調和への配慮ができるかが、駅周辺整備を検討する上での大きな課題といえる。

地域に特に足りないと思う施設、あった方が良いと思う施設について

- ・地域住民にとっては、駅前の一般車両の駐停車スペース（39.4％）や駐輪場（38.9％）、ベンチなど休憩施設（38.5％）などの通勤や通学、買い物などの日常生活における利便施設の充実が、特に大きな課題としてあげられている。
- ・箕面の山並みや自然を意識したまちづくりを進めるために、街路樹や花壇などの緑（33.5％）の充実も大きな課題となっている。

駅前及び商業地として改善すべき点について

- ・駐車場・駐輪場の造り、デザイン（37.6％）という意見が最も多く、住民にとってはやはり、現在の施設が老朽化などによって地域の景観に合っていないことを裏付ける結果となっており、デザイン面での改善が大きな課題といえる。

地元商業者アンケートから得られた主な課題

箕面駅周辺のまちづくりについて

- ・地元の商業者は、箕面駅周辺のまちづくりはやはり、「買い物などの利便性の向上」（53.3％）が最も重要と考えている。

地域に特に足りないと思う施設、あった方が良いと思う施設について

- ・地元商業者にとっては、駐車場（43.8％）、駐輪場（40.0％）といった買い物客などの集客施設の充実が、特に大きな課題としてあげられている。
- ・アーケード（32.4％）やトイレ（30.5％）、明るい照明・ネオン（26.7％）といった商業地域としての付帯施設の充実についても課題としてあげている。

駅前及び商業地として改善すべき点について

- ・駐車場・駐輪場の造り、デザイン（39.0％）という意見が最も多く、地元商業者にとっては、現在の施設が老朽化などによって利用者のニーズに合っていないこと、これによって集客が進んでいないと考えていることを裏付ける結果となっている。
- ・箕面駅周辺の商業地の将来性としては、見込みは薄い（20.0％）、将来性はない（7.6％）という意見は少なく、また、立地場所が悪い（13.0％）という意見も少ない。このことから、商業地としての課題は、立地上の問題ではなく、やはり駐車場や駐輪場といった利便施設、アーケードや休憩施設（トイレ、ベンチ）など、商業地、商店街としての魅力を高め、地域住民や観光客などの利用を促進する施設の充実、改善が大きな課題として考えられている。

箕面駅周辺地区の施設整備に向けた主な課題

【駅前広場整備に関する主な課題】

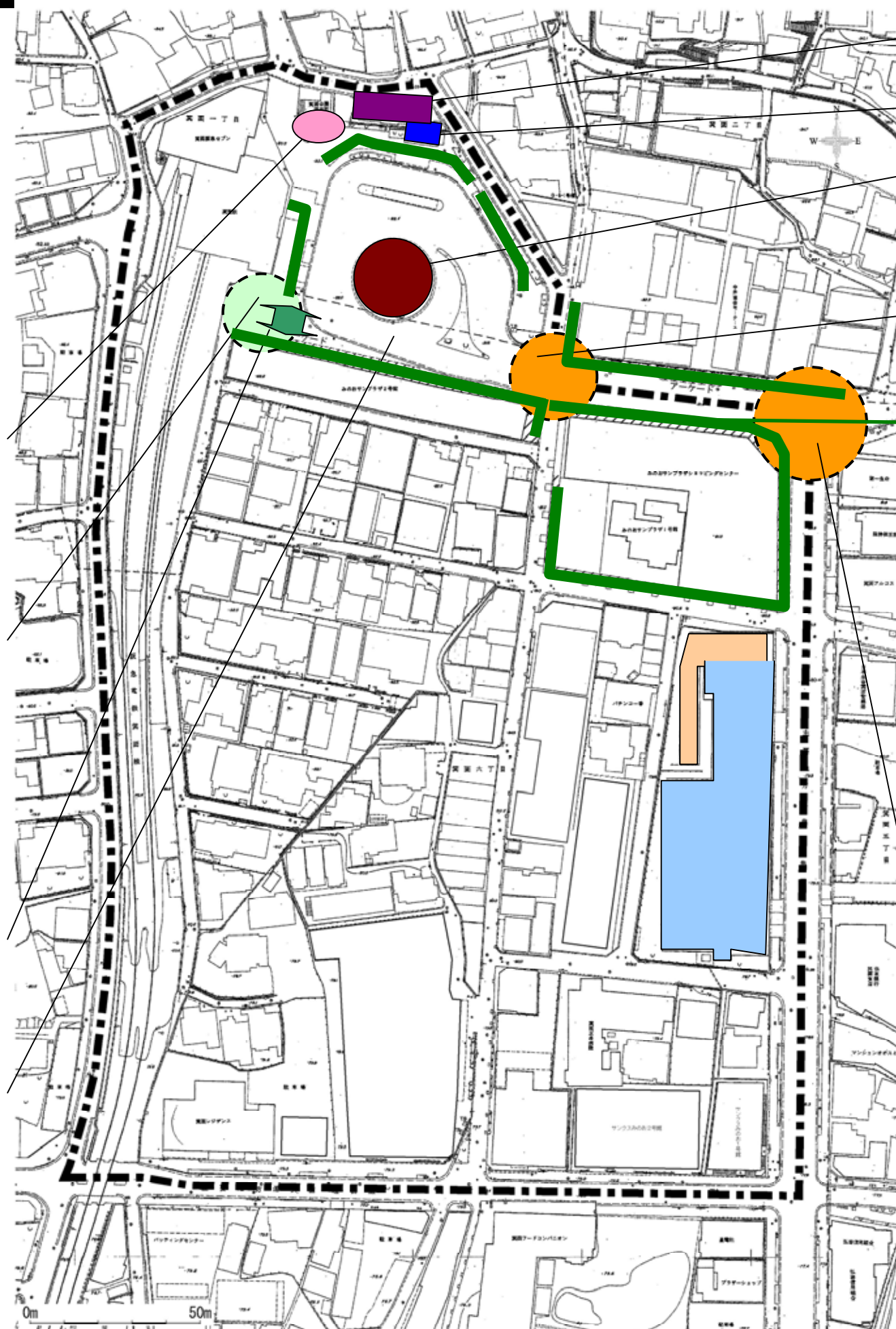
- ・箕面らしさ（山・緑）が感じられるように開放感のある駅前広場に
- ・駅前広場の歩道、広場スペースを広げる（配置の見直し）。そのために、車道・ロータリー・バス駐車場の整理・コンパクト化。
- ・「歩行者・人が大切」にするため歩道を拡幅、美しくする
- ・駅前周辺に街路灯を設置して明るくする
- ・駅前広場の視界を良くする。噴水・モニュメントの撤去・移設。バス駐車場（屋根・柱）等の見直し

- ・商店街の大型案内板を設置。観光案内所の充実。
- ・瀧道から商店街のことが分かるような誘導サインを設置。
- ・景観ポイントを創り、チラシ配布等により観光客の回遊性を高める

- ・一時置き駐輪場（コイン駐輪場）を設置するなど有効活用により、不法駐輪を解消
- ・広場活用。イス・ベンチを増。木製テラス設置。休憩所に。木陰があるとよい。
- ・プランターを増やす。アダプトを活用。活動応援のため、散水栓を設置。
- ・花は手入れがたいへんなので、常緑樹にして外周の景観を良くする。プランターは不要。

- ・駅前広場に同一のアーケードを連続して整備
- ・駅改札まで傘をささずに通行可能な、デザイン的に一体感のあるアーケードを設置

- ・駅前ロータリーに自家用車待機スペースを確保
- ・一定間隔で歩道と車道の段差解消
- ・車道をかさ上げてバリアフリー化
- ・障害者用のパーキングを設置



- ・移設し、観光施設や地区をアピールする施設に。

- ・公衆トイレの改修（ユニバーサルデザイン、エアコン完備）

- ・撤去するか、モニュメント化し、イロハモミジを植える
- ・箕面らしさを出す
- ・人の入ることができる小公園になると良い

- ・スクランブル交差点に。公衆トイレから池銀前までの植栽をカットし、道を広げ、交流を促進する

- ・北側アーケードの撤去

【アーケード整備に関する主な課題】

- ・デザイン的に一体感のあるアーケードを整備
- ・商店街を回遊できるように統一したデザインで
- ・もっと軽い感じのものに。空を感じられるように
- ・すっきりした形（アクリル等）にし、見通しを良くする
- ・内側に絵を描くことで印象を明るくする
- ・アーケード、鉄柱部分の色検討・統一
- 利用者アンケート調査結果（速報）より
「全てあった方がよい」64.8%、「部分的にはあった方がよい」14.5%、「なくても良い」14.5%

- ・豊亀線のT字路の景観を活用（看板等のインパクトが強い、山の景観を見せられないか）

検討ワークショップ、各種アンケート調査結果より作成

箕面駅周辺地区の施設整備に向けた主な課題

- ・ サンプラ 1 号館南出入口と駐車・駐輪場のつなぎを改善

- ・ サンプラ南側の東西の通りを重視。
- ・ 1 号館南側歩道を拡げて歩きやすくする

- ・ 本通りの四つ辻を演出

- ・ 本通りの電線類地中化、電柱等の整序
- ・ 水路（せせらぎ）の利活用、適正な維持管理

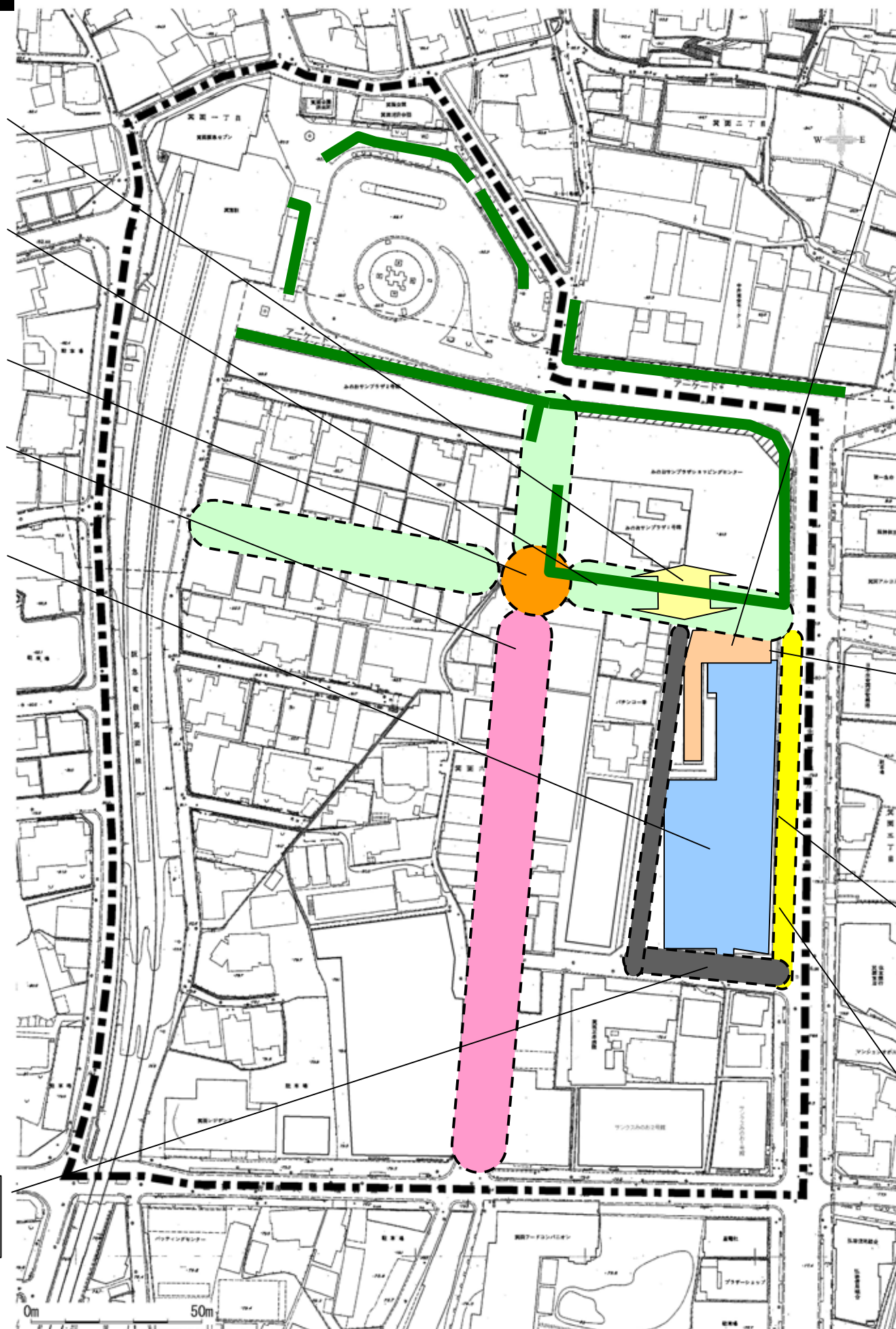
【駐車場整備に関する主な課題】

- ・ 外壁が汚れている。外壁塗装を施し、景観向上
- ・ レトロな箱形スタイルを活かして、手入れ、リメイク
- ・ 駐車場西側出入口を、北と南の 2 カ所に設置
- ・ 駐車スペースを広くする
- ・ R V 車やワンボックス車にも対応したものを
- ・ 軽自動車用のスペースを設け、全体の車室を広く
- ・ 車路、出入口、歩行者通路の改修が必要
- ・ 2 階へのスロープ改善。料金所前のカーブの改善
- ・ 暗いので照明を充実（明るくする）
- ・ （各階の）空車情報の案内板を設置
- ・ 最上階にも屋根を設置
- ・ 危険なところは改善すべきだが、あまりお金をかけすぎない。
- ・ 補修、改修して料金が高くなるなら不要

【バリアフリーへの対応】

- ・ エレベーターの設置。階段の段差がきついので改善
- ・ トイレの改修

- ・ 南側及び外周のブロック塀を撤去し、道路と一体化
- ・ 樹木、花壇、ベンチなどを設け、親水空間を創出



【駐輪場整備に関する主な課題】

- ・ もっと駅前（ロータリー）に。跡地は商業スペースに
- ・ 建て替え、縮小し、公共スペースを広げる
- ・ バイクの駐車台数を多くし、駅前から自転車、バイクの不法駐輪を一掃
- ・ 外観が錆びているので、外壁塗装などを施し、景観向上
- ・ メインストリートに鉄骨むき出しの駐車場、駐輪場は似つかわしくないので改善
- ・ イベント発信基地、修理場もセットで整備し、会員制にして利用率を高めるなど工夫する。マナー・モラルの学習の場としても活用
- ・ レトロな箱形スタイルを活かして、手入れ、リメイク
- ・ 料金が高くなるのなら、補修や改修は不要
- ・ 車室が狭く、今の自転車の形状にも合っていないため、広く、とめやすくする。平面で止められる形態が良い
- ・ 2 階、3 階へ上がるスロープがたいへん。方法を検討するべき。高齢者に配慮した施設へ改善
- ・ ヴィソラの駐輪場に導入されている移動式の設備を導入
- ・ 施設内が暗く危険なため、明るくする。照明設備を多くする

- ・ 駐輪場の入口が分かりにくいので表示を明確に
- ・ 出入口のスロープが急でたいへん。特にミニバイクは利用しにくいので、平面にする
- ・ 人の出入り口が狭く、出入りの際に不便なので解消する
- ・ 出入口が交差点の脇にあり、歩行者や自転車と交錯するので、出入口の位置を再検討

- ・ シンボルロード側にミニショップを設置し、まちの活性化を図る
- ・ デザイン性のある柵に付け替える
- ・ 東側の側溝にはフタをする

- ・ 道路（シンボルロード）との取り付きを改善（見通しが悪く、歩行者にとって危険）
- ・ 料金所の場所を改善
- ・ 入口の幅、高さの改善。出口の構造を改善

検討ワークショップ、各種アンケート調査結果より作成

箕面駅周辺の整備コンセプトの検討

『箕面らしさ』を表すキーワード＝整備コンセプトの検討

箕面駅周辺整備方針では、駅前広場、駐車場、駐輪場といった公共施設整備方針の検討が中心となっていますが、この整備方針検討の大切な視点として『面的な一体的整備』が掲げられています。

この面的な一体的整備という視点を念頭において整備方針を検討するためにも、整備コンセプトの検討が重要と考えています。

検討ワークショップでは、『箕面らしさ』を大切にしたい整備を進めることが重要と考え、この『箕面らしさ』を表すキーワードを抽出し、整備コンセプト検討の足がかりとすることとしました。

検討懇話会では、検討ワークショップで抽出されたこれらキーワードをもとに、箕面駅周辺整備方針の整備コンセプト（案）を検討していきます。

【検討ワークショップで整理された『箕面らしさ』を表すキーワード】

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------------|
| ・山、モミジ、サル、緑、自然 | ・山、空、開放感 | ・マイナスイオン、清涼感、空気がきれい |
| ・四季の移り変わりが感じられる | ・関西の“軽井沢” | ・観光、高級住宅地 |
| ・都会だが田舎の風景もあるまち | ・時間がゆっくり流れるまち | |
| ・終着駅（行き詰まり） | ・始点（出発点） | ・人情、やさしさが残るまち |

ワークショップで検討した整備方針(案)



検討対象施設の整備の方向性について

本事業で対象となっている駅前広場や駐車場、駐輪場、アーケード等の街路には、様々な機能があります。これらは、社会動向や都市の状況、利用者のニーズによって、その規模や形態などの整備内容が異なります。また、その地区が有する条件によっても異なります。

箕面駅周辺地区にふさわしい施設として機能更新、景観整備などを進めていくためには、抽出された課題などをもとに、各施設が担うべき機能や役割を検証し、整備の方向性を定める必要があります。

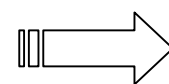
ここで示す整備方針（整備メニュー）は、検討ワークショップやアンケート調査からの意見を中心に分類し、列記しています。

今後、実現の可能性や整備の優先度などを検討する必要があります。

駅前広場が有する多様な機能・役割

交通空間としての機能・役割

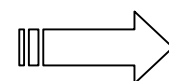
1) 交通処理機能：バス乗降場、タクシー乗降場、自家用車乗降場、タクシー駐車場、歩道、車道



【整備方針（整備メニュー）の案】

駅前広場の再配置（ロータリー、バス・タクシー乗降場の配置及び適正化） 停車スペースの確保（身障者・一般） 歩道・車道（バリアフリー対応）の整備 アーケードの連続性の確保（シェルター等）の整備

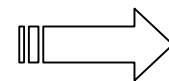
2) 付加的機能：キス＆ライド、パーク＆ライド、自家用車等の短時間駐車交通、二輪車交通、長距離バスなどの交通



駅前広場の再配置（停車スペースの確保（キス＆ライド対応）） 自家用車短時間駐車場 観光バス駐停車場の整備

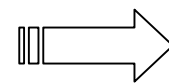
環境空間としての機能・役割

1) 市街地拠点機能：都市の拠点形成の場、都市活動の中心の場、周辺の都市機能の支援



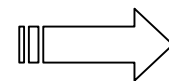
案内・誘導機能の充実（観光案内所、案内板、誘導サインの充実） 行政サービスコーナーの整備 空地の活用（一時駐輪スペースの確保等）

2) 交流機能：憩いの場、集いの場、語らいの場（滞留スペース・プラザ、団体広場等）



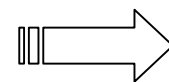
空地の活用（小公園、休憩スペースの整備） 公衆トイレの改修 噴水撤去（オープンスペース、モニュメント、緑化）

3) 景観機能：景観形成の場、緑・親水空間、シンボル空間（まちの中心）



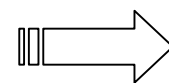
噴水撤去（オープンスペース、モニュメント、緑化） 視距改善（見通し確保） 空地の活用（緑化等） 交差点改良（多様な歩行者動線の確保）

4) サービス機能：公共的サービス提供の場、情報提供の場



案内・誘導機能の充実（観光案内所、案内サイン、誘導サイン、チラシ等の充実） 行政サービスコーナーの整備

5) 防災機能：防災活動拠点の場（一時的な避難所、救援等の活動拠点等）



空地の活用（小公園、休憩スペースの整備） 貯水槽（雨水貯留施設） 備蓄庫の整備

検討ワークショップからの意見 アンケート調査からの意見
ワークショップ、アンケートの意見以外に必要なと思われる項目

駐車場が有する多様な機能・役割

道路交通の改善機能（道路交通の円滑化）
 道路交通容量の増大、沿道アクセスの向上、安全性の向上（交通処理）

自動車利用者利便性向上（公衆の利便に資する）
 パーク＆ライド、フリンジパーキング、荷捌き等の多様な利用形態への対応

都市の健全な発展への寄与（都市の機能の維持及び増進）
 中心市街地・商業地の活性化、都市のイメージの向上（景観）

【整備方針（整備メニュー）の案】

駐車場整備（条件整備、大型車対応駐車場の整備（車庫、車路）） 前面道路交通安全施設の充実（標識、誘導灯、右折レーン等）
 ・

駐車場整備（条件整備、バリアフリー対応整備（エレベーター、トイレ、通路等）） パーク＆ライド対応
 ・

出入口の改善・歩行者動線の確保（商業地・駅等アクセス通路（歩行者用出入口、カート利用等））
 景観整備、外観の改善（施設デザイン、水路蓋等） 歩行者動線の整備（外周ブロック塀の撤去、広場等）、
 ミニショップ整備（サービス拠点、物販等）
 ・

自転車駐車が有する多様な機能・役割

自転車利用者利便性の向上
 目的別（通勤、通学、買い物等）自転車駐車需要への対応（大量、長時間、短時間等）

自転車・二輪車等の利用増大への対応
 多様な利用形態への対応（バリアフリー等）、健康・環境問題（クルマ社会からの脱却）

サービス・拠点機能
 自転車利用者サービス（物販、修理、レンタサイクル等）、観光・交流拠点

駐輪場整備（利便性の改善、大型自転車・電動自転車等対応スペース・車路） ミニバイク専用駐輪場
 大型二輪車駐輪場
 ・

出入口の改善・歩行者動線の確保（商業地・駅等アクセス通路（歩行者用出入口）） バリアフリー対応整備
 景観整備（施設デザイン） サービス拠点整備（修理場、物販、レンタサイクル基地）
 ・

サービス拠点整備（修理場、物販、レンタサイクル基地）
 ・

アーケードを含めた街路が有する多様な機能・役割

通路としての機能
 人や物の動きのための通路・誘導（バリアフリー）、回遊、雨よけ

沿道利用のための機能
 建物・店舗・施設へのアプローチ、出入り、荷捌き

環境空間としての機能
 オープンスペース、憩いの場・遊び場、滞留、緑地、景観

防災空間としての機能
 オープンスペース、進入路、避難路、災害遮断

収容空間としての機能
 供給処理施設・情報通信施設等のライフライン、地域冷暖房、駐車・駐輪

歩行者動線の整備（舗装の改修、バリアフリー対応・段差解消、歩道の連続性確保） 一体的・連続的
 アーケードの整備
 ・

歩行者動線の整備（舗装の改修、バリアフリー対応・段差解消、歩道の連続性確保） 歩行者動線の整備
 （歩車共存道路（路面共有・歩車分離）の整備） アーケード整備（デザイン・色彩の統一、素材の検討）
 ・

せせらぎ（水路）の活用・改善 歩行者動線の整備（休憩施設（ベンチ、広場等）） エントランス
 整備（修景整備） 賑わい景観整備（四つ辻の演出） 景観配慮（電線類の整理（電柱後退、地中化等）、
 歴史的街並みの活用） 交差点の景観改善（看板撤去・再配置等）
 ・

せせらぎ（水路）の活用・改善 景観配慮（街路樹・植栽等） 歩車共存道路（歩車分離）の整備
 ・

空地の活用（一時駐輪スペースの確保等） 景観配慮（電線類の整理（電柱後退、地中化等））
 ・

検討ワークショップからの意見 アンケート調査からの意見
 ワークショップ、アンケートの意見以外に必要なと思われる項目